

理数科1年・自然科学部合同 SSH天草研修実施



7月の台風で延期となった天草研修を11月10日～11日に実施しました。

化石採集では、サンゴ等、様々な化石を見つけることができました。

また、生息する魚類の特徴や、統計的な処理について学習するため、魚類調査も行いました。

普段の学習と異なり、自然の中で、全身を通して学ぶことができました。

図1 天草研修での研修の様子

地域課題の解決を見据えて 共創ワークショップ in 御所浦島 実施



図2 御所浦島のコーディネーター三宅氏とのワークショップ

天草研修では、自然科学部の生徒を中心に、夕食後の特別プログラムとして、御所浦島の地域復興に関する活動をされている御所浦アイランドツーリズム推進協議会の三宅啓雅氏を囲んだワークショップを実施しました。課題研究のテーマ設定時に利用しているリフレクションの質問手法を使って、活動の現状や背景に

ついて深掘りをしました。

その中で、伝統的な技法で作られた木造船は、数隻しか、すでに存在しておらず、技術継承もほぼされていないということも分かりました。

振り返りでは、木造船のように失われている伝統や技術といった、日本の地域課題を解決できるような力を付けたいという意見も出されました。

植松努氏による40周年記念講演会実施 「思うは招くー夢があればなんでもできるー」



図3 40周年記念講演会の様子

10月28日(金)の熊本北高校40周年記念講演会は、SSH研究部が企画・運営を行いました。

講師は、植松電機の植松努氏でした。自社で多数のロケット等の打ち上げに成功され、その活動はTED×SAPPOROの動画で広く知られるようになりました。

本校SSHの柱である課題研究を通して生きる力を育み自分らしく生きられるようにすること、違いを認め違いから学び成長していくこととも重なる部分もありました。

これから課題研究や進路決定を進めていく生徒たちにとって貴重な時間になりました。

【生徒の感想(抜粋)】

○私は講演を聞いてすごく泣いてしまいました。将来のことを考えるのが最近本当に苦痛でしかたなかったからです。親と話すこともままならず、ちょうど悩んでいたところだったため、すごく心にさりました。でも、その先には嬉しいことが待っていると考え、前向きになろうと思いました。
○講演を聞いてとても勇気が湧いてきました。私は今まで家族以外の人には迷惑だから弱みを見せること、相談することはやめようと我慢していました。しかし、講演を聞いて人は助け合う存在であり、一番の我慢はあきらめること、最初から何もしないことだと知って、これからは悩みや困ったことがあれば近くの信頼できる人に相談しようと思いました。

学会との共創！第66回宇宙科学技術連合講演会 ジョイント特別講演「有人宇宙飛行・宇宙探査の今後」 佐々木宏氏(JAXA理事)企画・実施！！

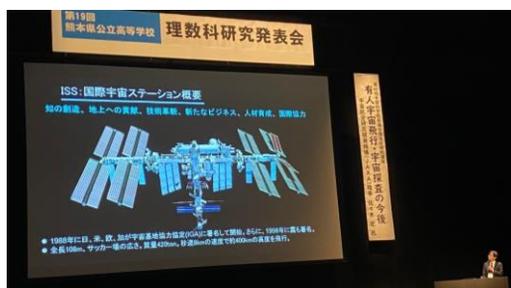


図4 JAXA理事佐々木氏による高校生と学会会員への講演

本校SSH研究部と理数科が熊本国際観光コンベンション協会と協力し、学会と理数科事務局を繋ぎました。熊本県の理数科研究発表会で、初めてとなる学会とのジョイント講演会を実現することができました。